

職場環境の改善による 働きがい改革

戸田市立芦原小学校

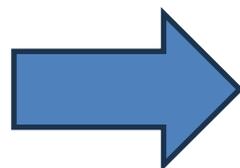
新しい時代の学びを実現する学校施設の検討



国内の民間企業

- ・ICTの普及
- ・勤務形態や勤務時間の多様化
- ・新しいワークスタイルの浸透

オフィス環境が大きく変化



学校

改善の余地が多く残されている

- ・職場環境をより快適によりクリエイティブに進化させれば、授業時間以外の業務の効率化が進み、多忙感の軽減につながる。
- ・ゆとりのある業務によって教育の質の向上が図られる。

本校：R7年職員室の改修を予定⇒職場環境を大きく変えるチャンス

・働く人の意識を変え、人と人とのコミュニケーションを促進し、イノベーションを起こす！

環境整備の知見

民間企業が多くの蓄積を持っている

生産性やコミュニケーションを高める職員室づくり



専門家の指導をもらいながら進めていく



本プロジェクトで行う4つのこと

①事前にゾーニングをしっかりと行う。

「通常の業務を行うゾーン」「職員同士で会議・コミュニケーションを行うゾーン」「収納ゾーン」「作業などで集中するゾーン」などのゾーニングを事前に行う。

個々のゾーン内での導線を考え、モノを配置する。



②コミュニケーション量アップのための共有スペースの重視

ミーティングテーブル、ハイテーブルなどを共有スペースに配置し、教員同士が気軽にコミュニケーションを取りやすいレイアウトにする。

- ・立ち会議を導入し、業務の効率化を図る。
- ・書類や文房具を共有化することでスペースの効率化を図る。



③グループウェアやツールを活用し、会議効率を上げる

会議の趣旨や目的を明確にし、最適なミーティングのスタイルを選択できるようにする。

そのために、ホワイトボード、スクリーンなどのツールを活用できるようにする。

④民間企業のオフィス環境を知る

日々の業務を行いながら改めて現在の職場環境を見直すことは難しく、他人まかせになってしまいがち
実際に民間企業のオフィス環境を知ること→職場環境の見直しを自分事としてとらえるために有効な手立て

遠足

大人の遠足

企業のオフィス見学を行う

・空間レイアウトや家具、道具の使い方、書類の整理法はもちろん、コミュニケーションの取り方などについても学ぶ

必要経費について

コンサルティング費用、旅費、環境整備費など

空間が変われば、働き方も変わる！

今、学校で学んでいる児童が社会に出るころには、社会は大きく変化している。

そんな未来で働く児童に働くことの楽しさを伝えるためにも、まずは教職員がクリエイティブに、快適に働ける環境をつくっていくことが重要である。

空間が変われば、働き方も変わる。

今日の前にある職場環境を少しずつ変えていくことも、学校教育の質を高める一つの要素である。